

# 多賀城高等学校

校訓 さとく ゆたかに たくましく



## 1 基本データ

創立：昭和51年  
 課程・学科：全日制課程・普通科、災害科学科  
 生徒数：834名  
 所在地：〒985-0831  
 多賀城市笠神二丁目17番1号  
 TEL：022-366-1225  
 FAX：022-366-1226

ホームページアドレス：  
<https://tagajo-hs.myswan.ed.jp/>  
 電子メールアドレス：  
 tagajo-hs@od.myswan.ed.jp  
 主な交通機関：  
 JR仙石線 下馬駅下車 徒歩20分

## 2 学校の特徴

### キャッチフレーズ

#### 誰にでも未来を創る能力がある

本校では「さとく・ゆたかに・たくましく」の校訓のもと、生徒と教員が「誰にでも未来を創る能力(ちから)がある」ことを共に確信し、これからの厳しい社会を生き抜いていくための土台となる「最後まで諦めずに頑張る力」の育成を目指して、進路目標達成を実現できるよう全力でサポートします。

#### (1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

仙台市の北東部に隣接する史跡の街、多賀城市に昭和51年に創設された全日制高校で、1～3学年普通科6クラス(240名)、災害科学科1クラス(40名)編制、男女比ほぼ1:1の共学校です。

JR仙石線下馬駅より徒歩20分の距離にあり、閑静で緑豊かな環境に立地しています。

#### (2) 教育方針

21世紀を担う人物の育成という観点に立って、高い知性、豊かな情操、すぐれた徳性強い意志と強健な身体をもち、広い視野をもって社会、国家に貢献する人物を育成することを方針としています。

次の3つの教育目標を定めています。

##### 1 知性の伸長(さとく)

自己のもつ可能性を見出し、その伸長と実現を図るとともに、真・善・美を追求し、常に広く調和のとれた教養を身に付けるよう努める。

##### 2 人格の尊重(ゆたかに)

正しく自己を愛し、他も愛する豊かな愛情を育て、社会に奉仕する精神を養い、互いに信頼しあえる誠実な人となるよう努める。

##### 3 心身の健康(たくましく)

心身の健康こそすべての生活の根源である。清潔で健康な生活を送ることを心がけるとともに進んで心身を鍛え、明るく清くどんな困難にあってもくじけない強固な意志と



強靱な体力を身に付けるよう努める。

#### (3) 教育課程の特徴

原則月・火・木曜日は7時間授業であり、水・金曜日は6時間授業です。令和6年度より、第1期に続き「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業」第2期の指定を受けています。持続可能な未来を創造する科学技術人材を育成するためのカリキュラムを開発し、学際的な視点で発展的な学習を行うことで、将来科学技術を基盤とする分野で高いリーダーシップを発揮し、世界的にも活躍できる人材や地域社会を活性化するイノベーターの育成に取り組んでいます。

##### <普通科>

1年生では、必修教科目の多くを設定し、基礎・基本を大切に学びます。2年生では、文系・理系に分け進路に合わせて地理歴史と理科での選択を設定しています。3年生では、大学進学を基本とした文理2類型及び進路や興味・関心にあわせた学校設定科目を設置しています。

##### <災害科学科>

自然災害を科学的にとらえる知識や技能を身に付けることを目的とし、被災後の復興を担う人材を育てることを目的として、平成28年4月に開設された専門学科です。普通科における教科・科目をベースとして科学的な学校設定教科・科目を多数組み込んだカリキュラムとなっています。また、学外の研究機関や大学(東北大学、東北学院大学等)と連携して行われる巡検と呼ばれるフィールドワークや県外の研究施設への宿泊研修など、最先端の研究に関わる研究者との交流を持てることも特徴となっています。



#### (4) 行事・生徒会活動・部活動

進路関係行事として、大学による出前授業、社会人講話やディベートがあり、多くの学習、経験をしながらそれぞれの第一志望進路の実現を目指しています。

部活動も、「個性追求の場」として、生徒主体の意欲あふれる熱心な活動が行われており、多くの部が活発に活動しています。

<運動部> 野球、陸上、ソフトボール、山岳、バレーボール、卓球、剣道、バスケットボール、テニス、水泳、柔道、バドミントン、弓道

<文化部> 写真、SS科学、合唱、軽音楽、吹奏楽、美術、茶華道、語学研究、家庭、情報処理



#### (5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者、就職者)

進路	R7	R6	R5
国公立大学	63	66	67
大学校	1	0	2
私立大学	154	146	152
短大	8	3	10
専各学校	31	29	18
就職	5	11	10
その他	10	19	10
卒業生計	272	274	269

主な進路先(令和8年3月卒業生)

( )内は人数 (1)は省略。

##### <国公立大学>

北教大(2)、釧路公立大、岩手大(3)、岩手県立大(2)、宮教大(4)、宮城大(6)、秋田大(3)、山形大(28)、福島大(6)、茨城大、宇都宮大(2)、東京学芸大、一橋大、都留文大、金沢大、神戸市外大

##### <私立大学>

東北学院大(57)、東北福祉大(30)、東北工大(15)、宮城学院女子大(8)、仙台青葉学院大(2)、東北医科薬科大(6)、石巻専修大(2)、東北芸工大(4)、尚絅学院大(2)、東北文化学園大(2)、仙台大(2)、東北生文大(2)、立教大、関西大、東洋大(2)、順天堂大(2)、国際医療福祉大(2) 他

##### <短期大学>

仙台青葉学院短大(7)、岩手県立大盛岡短大

##### <専修各種学校>

仙台医療センター附属仙台看護助産(4)、東北労災看護(2)、葵会仙台看護(3) 他

##### <就職>

塩釜市職員、自衛隊、宮城県警察、黒川消防、大崎消防

### 3 学校魅力発信

#### (1) 本校生徒の活躍

1月中旬には、全国から高校生を招いて、「3.11メモリアル” Re-dit” ミーティング」が開催されました。東日本震災の経験と教訓を全国各地・後世に継承し、全国の高校生が自分の地元地域の防災・減災に関する問題や課題を自分事とするきっかけをつくり、各校の生徒が取り組む探究活動の成果について発表・議論しました。盛んな議論を通じて探究力・議論力・統合力の向上を図ることができました。



1日目 iRisHall での基調講演の様子

#### (2) 主な学校行事～多高3大行事

多高3大行事は、球技大会・多高祭・体育祭です。

##### 「体育祭」

体育祭は、実行委員会が何週間もかけて準備を重ね、例年大盛り上がりで大成功を収めています。昨年も、借り人競争、玉入れ、五色綱引き、その他合計8つの競技を行いました。パン食い競争では苦戦する生徒が多く、全く読めない展開に手に汗握る白熱した競争がくりひろげられました。縦割りリレーでは、各学年の代表選手が力を合わせ見事なバトンワークで最後まで走り抜き、最高潮に盛り上がりました。

##### 「多高祭」

多高祭（文化祭）でも、生徒たちが自ら企画・運営を手掛け、各クラスや各文化部の趣向を凝らしたステージパフォーマンスや模擬店、校内展示など最高の物を作り上げます。毎年多くの見学者が訪れ、訪れた人々すべてを魅了しています。生徒一人一人が努力と工夫とアイデアを出し合い、自分の成長を実感できる良い経験となっています。

昨年の多高祭は、1日目の校内発表では、実行委員会企画のステージ発表では、全校生徒参加のイベントや、有志による発表で体育館全体が一体となって盛り上がりました。2日目は一般公開となりました。文化部を中心とした展示・発表だけでなく、クラスごとの模擬店も出すことができました。1600人を超えるお客様に来店していただき、とても盛り上がりました。お客様から感謝の言葉をいただき、生徒たちに多くの笑顔がみられました。

##### 「球技大会」

クラス対抗でさまざまな競技が行われ、熱戦が繰り広げられます。各クラスで作るそろいのTシャツを着てプレーすることで団結力をより一層深めることができると大変好評です。実行委員の生徒自身が運営や企画を考え、なるべく多くの生徒が参加できるように、試合形式や種目に工夫を凝らしました。球技大会を通して、改めて仲間の大切さを気づくことができました。



#### (3) 学校制服紹介



平成20年から採用している制服のデザインをそのままに、令和8年度、マイナーチェンジしました。過程で選択可能な生地への変更や別デザインの夏服の廃止、夏用ポロシャツの導入など、扱いやすい制服に変更されています。

#### (4) 施設紹介



昭和52年に落成した歴史ある校舎です。その後、コンピュータ室、トレーニングルーム、グラウンドやテニスコートの照明の設置等多くの施設・設備を新設し現在に至っています。校舎は4階建てで全面南向き、日中は窓から光が差し込み、開放感あふれる構造になっています。四月は、敷地を囲むように桜が咲き、さながら桜園の中に校舎があるように見えます。図書室だけでなく学び処と呼ばれる自習室もあり、学習するには最適な環境がそろっています。

また、野球、サッカー、ラグビー、ソフトボール、陸上などが同時に活動可能な大きなグラウンド、全7面のテニスコートを備え、恵まれた環境でのびのび活動ができます。

### 4 在校生からのメッセージ

生徒会会長 吉田陽葵さん（塩竈一中出身）から

多賀城高校では、防災、減災について考え、伝承活動や地域に貢献する活動に積極的に取り組んでいます。さらに、学校行事や他校との交流活動、学校独自のイベントを通して、普段の授業では得られない経験ができる点も魅力の一つです。さまざまな経験の中で、知識だけでなく、自ら考える力や表現力も身に付けることができます。

ぜひ私たちと多賀城高校でしか味わえない高校生活を楽しみましょう。

